



新型コロナウイルスの影響により、開館時間など変更になる場合があります。詳しくは各施設にお問い合わせください。

### トミオカホワイト美術館

開館9:00～17:00 (入館終了16:30)

9月の休館：毎週水曜日

☎775-3646 FAX 775-3650 URL <http://www.6bun.jp/white/>  
¥一般500円/小中高250円 (市内の小中学生は無料)

市民無料の日：8日(火)、18日(金)、28日(月)

#### 開館30周年記念「白と黒の詩」

期間 11月24日(火)まで

富岡が描いた白の世界を初期から晩年まで年代順に展示しています。

開館して30年経った今でもトミオカホワイトは変わらぬ白で人びとを魅了しています。



「早春・梢-セントラルパーク」

#### ラウンジ展 9月【観覧無料】

市民ギャラリー ちくちく会「第2回みんなの作品展」

### 南魚沼市民会館

受付8:30～17:15

9月の休館：7日(月)、14日(月)、23日(水)、28日(月)

☎773-5500 FAX 772-8161  
URL <http://www.6bun.jp/kaikan/>

#### 令和2年度優秀映画鑑賞推進事業 「時代を魅了した異端のヒーローたち」

見るものを引きつけて止まない異端のヒーローたち。シリーズ化やリメイクにより、時代を超越するアイコンとなった主人公を描く作品をお楽しみください。

日時・内容

・9月26日(土)

- 10:00～11:57 次郎長三国志
- 12:40～14:26 不知火検校
- 14:45～16:31 網走番外地

・9月27日(日)

- 10:00～11:46 網走番外地
- 12:30～14:34 人生劇場 飛車角と吉良常
- 14:50～16:47 次郎長三国志

会場 市民会館 多目的ホール

入場料 全席自由 1,000円(2日間通し券)

小学生以下無料

※当日券のみです。(市民会館で販売)当日はマスクの着用をお願いします

#### 水谷千重子 ありがとうコンサート2020 in 南魚沼 開催を延期します

11月23日(月・祝)に開催を予定していた「水谷千重子 ありがとうコンサート2020 in 南魚沼」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、検討を重ねた結果、ご来場のみなさん、出演者、関係者などの安全を最優先に考え、公演は延期することになりました。詳細が決まり次第、改めて南魚沼市民会館ホームページなどでお知らせします。

### 鈴木牧之記念館

開館9:00～16:30

9月の休館：1日(火)、8日(火)、15日(火)、23日(水)、29日(火)

☎・FAX 782-9860 URL <http://www.6bun.jp/bokushi/>  
¥大人500円/小中高250円 (市内の小中学生は無料)

#### 北越雪譜いろはかるたから

「つねならむ」の「な」  
「苗場山 頂上にあり

田んぼの不思議」

実際に苗場山に登った牧之は、頂上には人が作ったような苗の田が自然にできていて不思議であるといっています。



### 今泉記念館アートステーション

開館9:00～17:00 (入館16:30まで)

9月は毎日開館します

☎783-4500 FAX 783-3388  
URL <http://www.michinoeki-minamiuonuma.jp/imaizumi-kinenkan/>  
¥一般500円/小中高250円 (市内の小中学生は無料)

常設展 ～彫る 摺る 画く～「棟方志功の世界」

企画展 期間 11月15日(日)まで

#### 美しき日本の風景

葛飾北斎を始め、歌川広重、横山大観、片岡球子など当館が所蔵する巨匠たちの作品が登場します。日本の象徴である富士山や、京都の金閣寺、当時の人びとの様子が描かれた作品をご覧ください。

#### 南国の摩訶不思議な世界(セピックアート)

パプアニューギニアを中心とする南太平洋地域の島々は、独自の文化を発達させてきました。今ではパプアニューギニアからの持ち出しが禁止されている貴重な民族美術のコレクションを多数展示します。

#### 夏季限定特別イベント

特別展 「マイセンから見る工芸の世界」

期間 9月22日(火・祝)まで

昨年大好評だった工芸展を今年も開催します。

### 池田記念美術館

開館9:00～17:00 (入館16:30まで)

9月の休館：毎週水曜日、1日(火)～4日(金)

☎780-4080 FAX 777-3815 URL <http://www.ikedart.jp>  
¥一般500円/高校生以下無料

#### 第21回八海山夢展

期間 9月5日(土)～10月4日(日)

地元の美術愛好家を中心に、絵画・書道・写真・水石・工芸の5部門、約100人の作品を展示。今年は今初予定していた会館を変更して開催します。